

School

教育情報

桂川っ子

題字：桂川中学校美術部
瀬川 倅帆 さん

【問合せ先】桂川町教育委員会 ☎65・1149

■ 続・コロナ禍の中で

社会教育課 社会教育係

「今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をして、行事やイベントを開催しよう」と各公民分館、各団体は準備されていたことでしょう。ところが、感染拡大の終息は見通せず、5月から感染拡大の度に、福岡県への緊急事態宣言の発出や福岡コロナ特別警報の発動となりました。

このような状況から、感染拡大防止のため、各施設は利用制限を行い、行事やイベントは中止あるいは延期となっております。

社会教育事業の多くは、各団体や実行委員会、各種協議会により、運営・開催されます。今年度は、現在できる感染拡大防止対策を最優先に、講座や行事、イベントの内容を見直し、開催に向けて準備を進めてきました。残念ながら、中止になった事業もあります。開催に向けての検討、それにも伴う準備は、無になることはなく、これからに向けての第一歩となります。

このような状況の中、夏休みに開催できた事業をご紹介します。放課後子供教室事業「けいせん」夢・人・

未来塾」のコーナー塾は、小学生9人の参加で開催しました。穂波川で夏空の下、最初はコーナーに苦戦していた児童も、次第に思いのまま漕げるようになり、最終日はタイムを計測し、3日間の成果をみる事ができました。また、陶芸塾は、小学生16人の参加で開催しました。どの児童も集中して、「世界に一つだけ」の自分の作品を作りました。参加した児童が、講師の話聞いて、熱心に取組む姿を見て、コロナ禍でも、学びや体験活動を止めてはいけないと大人が教えられたものでした。

人の集まる活動は、現在、今までどおりに行えること、新しい生活様式でできること、オンラインでできることなど、多様化しています。しかし、一緒にその場にいなければ体験できない空気感、人と人とのふれあいなどは、社会生活には欠くことのできない大切なことだと思えます。「コロナ禍で・・・」という状況が早く終わることを願います。



子育て支援センター

「ひまわりのたね」だより

【問合せ先】子育て支援課 子育て支援係 ☎65・0081



梅野よしみ 保育士

■ 子どもの伸びる力に感動

緊急事態宣言が解除になり、「ひまわりのたね」は子どもたちの遊ぶ姿や笑い声が戻ってきました。2ヶ月近く閉館していた間に歩けるようになった子や、妹ができてお姉ちゃんになった子など、ぐんと成長していたのにも驚きました。小学校や保育所の運動会を観ることができ、そこでも子どもたちの成長を感じました。

5歳児の競技で、やる気満々の3人がスタートして跳び箱、鉄棒をクリアして、上り棒のつべんに付いているタンバリンを叩いて降りて来た時、ひとりの子がまた登り始めました。どうしたのかと見てみると、今度はタンバリンをしっかりと叩いて降りてきて、その後泣きながら縄跳びをして、ゴールで待っていた先生の両手の中に受け止められた泣くのです。やり直さなければ一番だったはずなのに、本人が納得いかず自らやり直したと知り胸が熱くなりました。みんなに観てもらおうのは本番の1回ですが、運動会に向けて毎日

取り組んできた過程で子どもたちが大きく成長したのが伝わりました。いっぱい感動にいっぱい拍手を送りました。

今、赤ちゃんの利用が多く、その子たちをあやしむながら「いろいろな経験をして大きく成長してね」と話しかけています。

子育て支援センター 「ひまわりのたね」

【開館】月～金曜日 9～16時
【場所】総合福祉センター 「ひまわりの里」内
【対象】0歳から未就学の子どもの保護者 ※利用には保護者の付き添いが必要です
【利用料】無料



▲ 芝生の上でもちい～な～！



▲ 練習いっぱいしたもんね！